

社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
早良区社協事務所（早良区社会福祉協議会）
 福岡市早良区百道 1-1-1 UMIBE BLD.1 階
 TEL:092-832-7383 FAX:092-832-7382
 Eメール:sawaraku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会
 マスコットキャラクター
 こっこ

コロナ禍に負けない
 住民パワー!!

赤い羽根共同募金「ありがとうマップ」

福岡県共同募金会福岡市支会では、インターネットの地図上で共同募金の使いみちをお知らせする「赤い羽根ありがとうマップ」を公開しています。

令和4年度は、長引くコロナ禍の中でも、様々な工夫をこらして行われた「知恵を絞ってこんなことができました事業」をご紹介します。

室見校区社会福祉協議会

令和3年度 コロナ禍でも知恵を絞ってこんなことができました。室見校区社協
 共同募金助成事業 **室見カフェ** 開催日時：①令和3年6月26日(土)
 ②令和3年11月18日(木) ③令和4年3月5日(土)
 参加人数：1回あたり100名前後

どげんかせないかな
 お茶やコーヒーを飲みながら歓談するスペースを中心に、地域で活動中の障がい者の作業所などを紹介するバザーコーナーやボランティアによる体験コーナーを設け、さまざまな世代、立場の人びとが、楽しみながら相互の交流を行っていくことを目的としています。

どげんやった? コロナ禍だったこともあり健康講座の参加者が多く、全体として高齢者の割合が高かった。<校区社協役員>

こげんことしたよ
 新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に講じた上で開催しました。惣菜の野菜・パン・雑貨などの販売、リサイクルの小物作り体験に加えて、美容師や保健師等の専門職の方々をお招きし健康講座や体験講座といったプログラムも盛り込みました。世代を超えてたくさんの方々の笑顔に触れることができました。

室見カフェ 障がい者福祉施設の野菜・パン・雑貨などの販売や小物作り体験、健康講座を行いました。

小田部校区社会福祉協議会

令和3年度 コロナ禍でも知恵を絞ってこんなことができました。小田部校区社協
 共同募金助成事業 令和3年度 **福祉のつどい**

開催日：令和4年3月13日
 参加人数：190名 (開催場所：小田部公民館)

どげんかせないかな
 コロナ禍の中、地域の高齢者が心身ともに元気になっていく様子が受け入れられました。また、2年間開催できなかった「福祉のつどい」に地域住民から「また、参加したい」という声がありました。

どげんやった? 子どもも大人も高齢者も楽しく福祉を学ぶ機会になりました。福祉の専門職の方々の協力は、大変強く感じています。

こげんことしたよ
 医療・介護専門職ネットワーク「助っ人」や地域の民生委員・児童委員の協力を得て開催しました。また、コロナ禍で開催することにあたり、「人数制限」や「複数の体験コーナーを屋外や屋内に設置」するなど工夫しました。

福祉のつどい 医療・介護専門職ネットワーク「助っ人」や民生委員・児童委員の協力を得て、屋内外で開催しました。

飯倉中央校区社会福祉協議会

令和3年度 コロナ禍でもこんなことができました。飯倉中央校区社協
 共同募金助成事業 **校区版安心カード配布事業**

開催日：6月～9月
 配布枚数：約5,000枚

どげんかせないかな
 当校区では複数の町内が高齢率30%を超えています。また、高齢者が、コロナで出歩く機会が減少し、その結果、筋力が弱り外出先で転倒する危険が高くなっているという声があります。誰もが「もしも」の時に備えておく必要を強く感じています。

どげんやった? 「こんなのが欲しかった。最近ではいとも財布にいれて持ち歩いています。(80代女性)」と好評です。

こげんことしたよ
 「飯倉中央校区版安心カード」を作成し見守りボランティアや民生委員・町内会の協力のもと全戸配布を行いました。また地域活動を知ってもらうきっかけになればと、小学校の協力で児童にも配布しています。

飯倉中央校区版安心カード作成 見守りボランティアや民生委員・児童委員、町内会の協力で全戸に配布。地域活動を周知するために、小学校にもお届けしています。

有住校区社会福祉協議会

令和3年度 コロナ禍でも知恵を絞ってこんなことができました。有住校区社協
 共同募金助成事業 **「うなぎ弁当」配食事業**

開催日：令和3年11月27日(土)・28日(日)
 参加人数：240名

どげんかせないかな
 校区のほとんどを団地が占めており、年々高齢率が上昇しています。単身の高齢者も多く、新型コロナウイルス感染症予防でなかなか会えない中、食事を摂れているか心配です。

どげんやった? うなぎ弁当が聞くのを毎年楽しみにしています。ありがとうございます。お弁当を届けてもらって、ボランティアさんから元気もいただいています。<80代・女性>

こげんことしたよ
 77歳以上の高齢者を対象とした「うなぎ弁当」の配食を実施。「コロナ禍でも元気に過ごしてほしい」と優しい気持ちを添えて、校区社協のボランティアが、240食もの「うなぎ弁当」をお届けしています。

「うなぎ弁当」配食事業 77歳以上を対象に「うなぎ弁当」を配食。「コロナ禍でも元気に過ごしてほしい」と優しい気持ちを添えてお渡ししました。

たくさんのご協力、ありがとうございます!

皆さまから寄せられた赤い羽根共同募金は、福岡市社協を通じて、お住まいの校区にその一部が配分されます。早良区では、令和3年度の校区社協助成金として4,169,500円、地区福祉事業助成金として3,677,800円が「誰もが安心して暮らせるまちづくり」のために使われています。

運動期間 10月1日～12月31日 ※歳末たすけあい募金は12月1日～12月31日



地域で子育てを応援！



福岡ファミリー・サポート・センター早良支部の活動を紹介します

「仕事の都合で保育園へ迎えに行けない」「病院に行きたいが子どもを見る人がいない」「習い事への送迎ができない」など、子育て中はさまざまなお困りごとが起きるかと思えます。

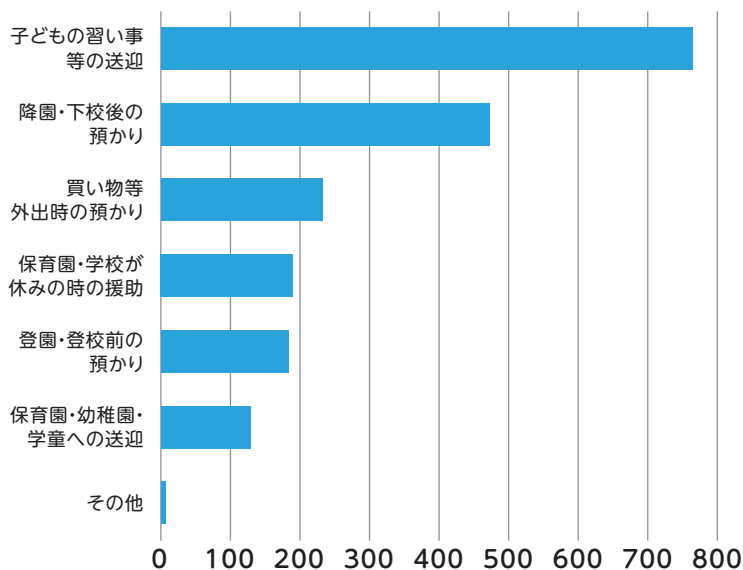
ファミリー・サポート・センターでは、子育てのお手伝いをしてほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)を結んで地域で子育ての助け合いをしています。

令和3年度の早良支部での活動回数は1,985回でした。

依頼内容としては、「習い事等の送迎」や「降園・下校後の預かり」が多い状況でした。

そのほか、「仕事の都合」や「買い物に行くため」、「リフレッシュのため」など状況に合わせてご利用されている方もいらっしゃいます。

活動状況 (令和3年度)



【提供会員の声】

いつも楽しくサポートしています。子育ては色々大変なことも多いと思います。仕事や用事、リフレッシュしたい時など、いつでも気軽にサポートを依頼してください。少しでもお役に立てれば嬉しいです。今しかできない子育てを楽しんでください。

子育ての応援会員募集中！
お気軽にご相談ください。

【お問合せ】

福岡ファミリー・サポート・センター早良支部
☎851-4900 FAX832-7382

生活上のよろず相談会

弁護士・行政書士・社会保険労務士が対応いたします。

相談無料

相談内容	相続・遺言・生前贈与、後見制度、年金・社会保険等各種相談
相談できる方	早良区にお住まい、もしくは通勤・通学先が早良区の方
開催日時	毎週火曜日16時～17時30分(祝日、お盆、年末年始を除く)
会場・問合せ先	早良区社協事務所 TEL 832-7383
相談時間	1名につき30分まで

申込方法：新型コロナウイルス感染拡大予防のため、当面の間、電話による相談受付(要予約)としております。

